

# 京都のみち 2040

## 【概要版】



### はじめに

「京都府総合計画(京都夢実現プラン)」(令和元年10月)で提示された20年後の将来像の実現を目指し、中長期的な道路施策の方向性及び目指すべき広域的な道路ネットワークのあり方を示す計画「京都のみち2040」を策定しました。

計画期間は、京都府総合計画に合わせて令和22(2040)年までの20年間を対象とします。

### 将来構想

総合計画で提示された“20年後に実現したい京都府社会の姿”をつくる道路施策の将来構想として、以下の4つの“20年後の道路の姿”を提示します。

【京都府総合計画】	【京都のみち2040】
“20年後に実現したい京都府社会の姿”	“20年後の道路の姿”
(1) 人とコミュニティを大切にする共生の京都府	1 日常生活を支え、すべての人にやさしい道
(2) 文化の力で新たな価値を創造する京都府	2 豊かな文化・観光資源を活かし、相互に魅力を高め合う道
(3) 豊かな産業を守り創造する京都府	3 効率的な移動を支え、産業の発展を生み出す道
(4) 環境にやさしく安心・安全な京都府	4 災害に強く持続可能な社会をつくる道

# 将来構想を実現するための道路施策

## 1 日常生活を支え、すべての人にやさしい道

人口減少・高齢化が進展する中においても、誰もが生き生きと暮らせる社会を実現するため、子育てや健康づくり、地域のコミュニティを支える、すべての人にやさしい道づくりを推進します。

### 1-① 安心・安全な道路空間の確保

〔 通学路等の歩行空間の整備、自転車通行空間の整備、事故危険箇所  
の交通安全対策、踏切道の改良、生活道路における速度抑制対策 〕

### 1-② 歩きたくなる健康まちづくり

〔 歩きたくなる健康まちづくりプロジェクトの取組、サイクルネットワークの整備 〕

### 1-③ 市街地・街並みの形成

〔 都市計画道路の整備、無電柱化、道路空間の再配分、スマートシティへの  
対応 〕

### 1-④ 交通結節点の利便性向上

〔 鉄道駅等とのアクセス性を向上させる道路整備、駅前広場の整備 〕

### 1-⑤ 中山間地域における持続可能な交通の確保

〔 日常生活を支える交通ネットワークの強化、1.5車線の道路整備、道の  
駅の拠点化、過疎地型 MaaS の取組への対応 〕



歩行空間の整備(西京高槻線)



速度抑制対策(王子並河線)



都市計画道路の整備((都)御陵山崎線)



1.5車線の道路整備(篠山京丹波線)

## 2 豊かな文化・景観資源を活かし、相互に魅力を高め合う道

地域の文化・景観資源を活かした道路空間を形成により、地域の豊かな文化を継承し、また、これらの地域同士を相互に結び周遊しやすくすることにより、魅力を高めます。

### 2-① 地域の文化を活かした道路空間の形成

〔 世界遺産や京都府景観資産登録地区等の周辺における街並み形成、  
伝統的行祭事に配慮した道路空間の景観整備、無電柱化 〕

### 2-② 観光周遊の促進

〔 広域道路網の整備、わかりやすい道路案内の推進、様々なニーズに対  
応した道の駅の整備、サイクルツーリズム環境の整備 〕



無電柱化整備(平等院線)



サイクルツーリズム環境の整備

## 3 効率的な移動を支え、産業の発展を生み出す道

新たな国土軸である新名神高速道路や京都舞鶴港、高速道路網、鉄道網を最大限に生かし、市街地、郊外、山間部それぞれに応じた有効な手法により、移動の円滑化・効率化を図り、産業の発展を生み出す道づくりを推進します。

### 3-① 物流の高度化の促進

〔 広域道路網の整備促進、広域道路網から都市圏や物流拠点へのアク  
セス道路、地域間をつなぐ道路の整備や機能強化、端末物流の効率  
化に対応する環境整備 〕

### 3-② 交通渋滞の解消

〔 ETC2.0 等のビッグデータを活用した渋滞対策 〕



鉄道との立体交差を含むバイパス整備(宇治淀線)

## 4 災害に強く持続可能な社会をつくる道

災害が発生しても、道路としての機能が致命的な影響を受けず維持され、最小の被害に留まり、迅速な復旧が可能となるよう、強く・しなやかに地域を守る道路整備を推進します。

また、持続可能な社会を構築するため、環境にやさしい社会を実現する基盤整備を推進します。

### 4-① 防災・減災、国土強靱化の推進

〔緊急輸送道路等の整備・強化、橋梁の耐震化、法面对策、冠水対策、無電柱化、異常気象時通行規制基準の見直し、原子力災害発生時の避難道路の整備〕

### 4-② 戦略的なアセットマネジメント

〔橋梁、トンネル等の計画的な点検及び補修、市町村公共施設を含めたインフラ長寿命化対策、日常の適切な維持管理、府民協働型インフラ保全事業〕

### 4-③ 環境にやさしい社会の仕組みの構築

〔渋滞対策、道の駅への給電設備の設置、自然との共生社会実現への取組〕

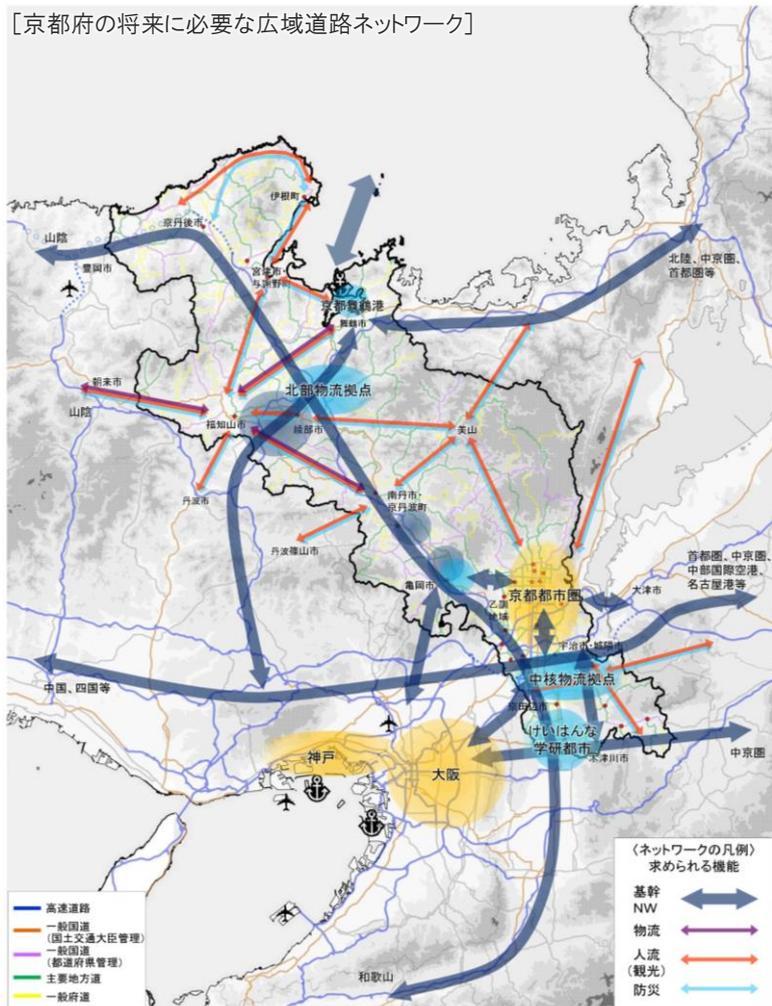


## 将来に必要な広域道路ネットワーク

20年後の道路の姿を実現するためには、平常時、災害時を問わず、安定的で連結信頼性の高い人流・物流を確保する広域的な道路ネットワークを構築する必要があります。将来構想を実現するための道路施策のうち、広域の移動を伴う、人流(観光)、物流、防災の3つの視点から、京都府の将来に必要な広域道路ネットワークを示します。

主な拠点	
物流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城陽市東部丘陵地を中心とした中核物流拠点</li> <li>・京都舞鶴港</li> <li>・北部ものづくり拠点、工業団地</li> <li>・関西文化学術研究都市</li> <li>・阪神港、関西国際空港</li> <li>・大消費地(大阪、京都、神戸の都市圏)</li> </ul>
人流(観光)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もうひとつの京都の戦略拠点</li> <li>・隣接府県の著名な観光地</li> <li>・京都舞鶴港</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域防災拠点、備蓄基地</li> <li>・京都舞鶴港</li> <li>・都市(市役所、町村役場)</li> <li>・災害時医療拠点</li> <li>・自衛隊基地・駐屯地</li> <li>・防災機能を有する道の駅</li> </ul>

[京都府の将来に必要な広域道路ネットワーク]



## 計画の運用

### 1 目標

将来構想を実現するための道路施策の主な取組について、目標を設定します。

取組	指標	現状	目標(2040)
歩行空間の整備	法指定通学路の歩行空間整備率	61%	70%
交通安全対策	事故危険箇所のうち対策未完了箇所	22 箇所	全箇所対策完了し、新たに指定された箇所の対策を実施
自転車走行空間の整備	自転車道、自転車通行帯の整備延長	1.5km	新たに 20km
無電柱化の整備	無電柱化の整備延長	20km	新たに 40km
サイクルツーリズム環境の整備	モデルルート(計画:約 500km)の整備延長	250km	全てのモデルルートが整備完了し、新たなルートの整備を推進
高速道路網ミッシングリンクの解消	府内の高速道路ミッシングリンク数	4区間	全区間で整備完了又は着手
高速道路の暫定2車線区間の4車線化	高速道路の暫定2車線区間の整備延長	111km* *暫定2車線区間延長	新たに 40km で4車線化の整備完了又は着手
重要物流道路の整備	国際海上コンテナ車の通行に特別な許可が必要な区間数	8区間	全区間で対策完了
橋梁の耐震化	大地震の発生後に通行できる緊急輸送道路上の橋梁の割合	90%	100%
法面防災対策	緊急輸送道路上の法面崩落等危険箇所(平成8年度点検)の対策状況	65%	全箇所対策完了し、今後の点検で追加された箇所での対策
異常気象時通行規制基準の見直し	異常気象時通行規制の見直し状況	40 区間* *現規制区間数	10 区間で規制の廃止又は基準緩和
インフラメンテナンス	Ⅲ判定*の橋梁及びトンネルの箇所数 *構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態	橋梁 163 橋、 トンネル 34 箇所	次回の点検(5年に1度)までに補修が完了するとともに、予防保全の取組も進める

### 2 中間評価と計画の見直し

各取組の進捗について概ね5年毎に中間評価を行います。併せて、計画期間中に新たに具体化した取組や完了した取組など、必要に応じて、設定目標の修正や追加等の見直しを行います。

また、10年後の中間評価を目途に、社会経済状況や道路を取り巻く状況及び評価結果を踏まえ、計画の見直しを行います。

## 京都のみち 2040 【概要版】

令和元(2019)年12月策定

発行 京都府建設交通部道路計画課

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

TEL:075-414-5248



©京都府 まゆまる 2959002